

2025年大阪・関西万博を契機とした枚方市の取組

～ひらかた万博と公民共創のまちづくり～



枚方市のご紹介



持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち

あらゆる可能性にチャレンジできる「人が主役のまち」「暮らしたくなるまち」



市制施行75周年（令和4年）

西には舟運で栄えた淀川が流れ、東には緑豊かな生駒山系の山々など豊かな自然に囲まれ、東海道56番目の宿場町である「枚方宿」や国特別史跡の「百済寺跡」など、歴史を感じる情緒あふれるまちです。

特色ある5大学、7つの企業団地の集積をはじめ、優れた技術、知識をもつ企業・団体そして市民が活動し、未来へのあらゆる可能性に向け活動する「人が主役のまち」です。

枚方市プロフィール（市制施行 昭和22年8月1日／府内12番目）
■人口 39万6215人 ■世帯数 18万3077世帯（令和4年3月末時点）
■総面積 65.12km² ■市の花 桜・菊 ■市の鳥 カワセミ

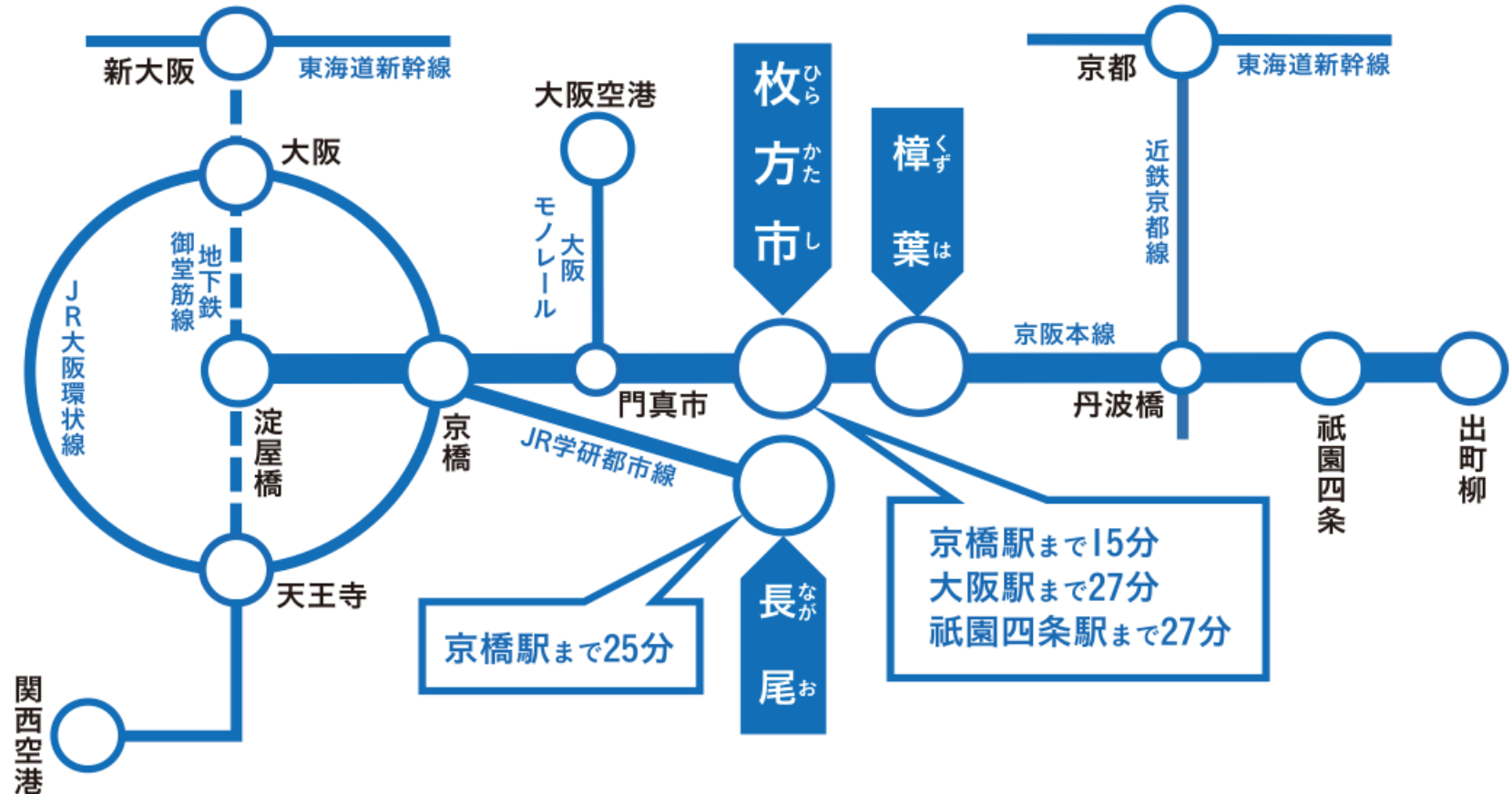
持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち

あらゆる可能性にチャレンジできる「人が主役のまち」「暮らしたくなるまち」

利便性

住む・働く・遊ぶ
とにかく便利なまち！

人口約40万人
大阪のベッドタウン



持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち

あらゆる可能性にチャレンジできる「人が主役のまち」「暮らしたくなるまち」

歴史

江戸時代に栄えた
淀川舟運の中継港・三十石船
東海道56番目の宿場町



淀川河川公園（枚方地区）にある枚方船着場
屋形船やクルーズ船が運航する、乗船客の乗降場。
平成29年（2017年）からは定期運航も。



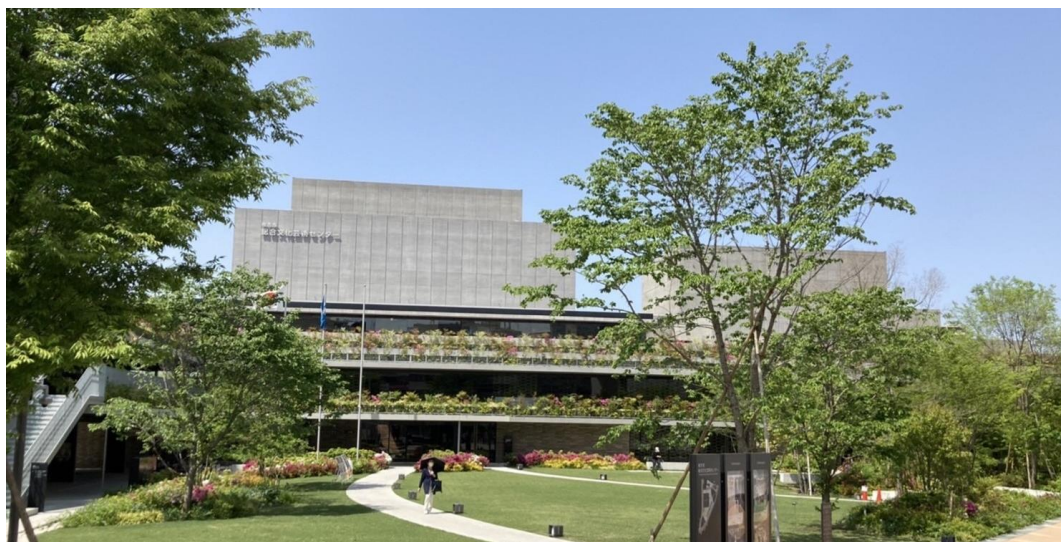
持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち

あらゆる可能性にチャレンジできる「人が主役のまち」「暮らしたくなるまち」

まち

文化芸術と賑わいの拠点

総合文化芸術センター 令和3年9月OPEN



持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち

あらゆる可能性にチャレンジできる「人が主役のまち」「暮らしたくなるまち」

まち

魅力にあふれ賑わいのあるまちへ

枚方市駅周辺再整備など

住居・店舗・オフィス・ホテル等
5つの街区を段階的に再整備



公民連携の考え方と仕組み



複雑化・高度化する 社会課題への対応

持続可能な自治体経営に
不可欠な考え方・手法



公民連携が求められる 背景・課題

人口減少・少子高齢化

人口減少、少子高齢化に伴う社会構造の変化等による行政課題の多様化・複雑化

高度化する行政課題・ニーズ

スマート自治体への転換や、医療、教育、防災など、様々な分野への対応の高度化

人的・財政的資源の制約

行政コストの削減や限られた財政的資源のなか、行政サービス最適化への対応が必要

公民連携

民間事業者の技術・サービス等
民間活力の活用や協働を推進

公民連携に取り組む 意義

市民サービスの向上

民間事業者のノウハウを幅広く活用することで、行政だけでは実現できないきめ細やかな、市民サービスが提供できる。

地域経済の活性化

公民連携により民間事業者の新たなビジネスチャンス開拓等の契機となり地域経済の活性化に繋がる。

行政コストの縮減
(財政負担の抑制)

公民連携により、財政負担を伴うことなく、あるいは既存よりコストを抑えて様々な行政課題に対応することができる。

公民連携の基本 「三方良し」

＜枚方市公民連携ガイドラインの基本的な考え方＞
企業・行政・市民にとって価値のある取り組みを実現する
行政課題の解決と、企業価値の向上を同時に達成

様々なアイデアを実現する 企業との対話の仕組み

「公民連携プラットフォーム」

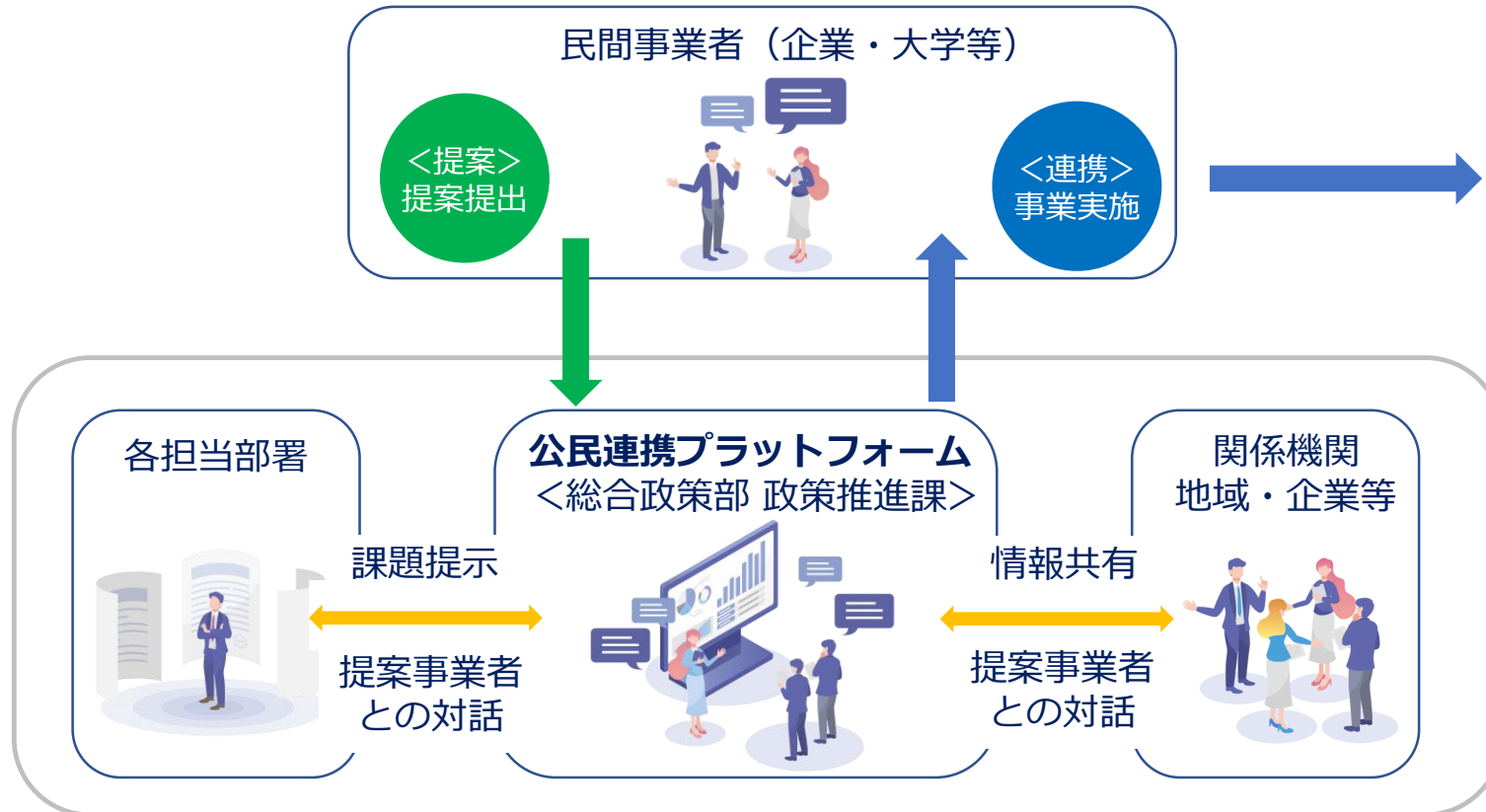
枚方市が抱える課題を解決するべく、様々な企業からの公民提案が届きます。
三方良しの考え方に立ち、企業との対等な立場で対話を進めています。

互いの強みを繋ぎ、課題解決・新たな価値創出へ

ひらかた万博がめざすゴールに向けて、民間事業者や大学、研究機関などの事業者と連携し、市と事業者等それぞれのアイデアやノウハウなど、強みを活かした取り組みによって、様々な課題解決と互いにとってプラスとなる新たな価値創出へ取り組みます。

枚方市公民連携プラットフォーム

事業者との連携で解決したい課題を掲載しています。課題解決に向けた事業・実証実験等のアイデアの提案を随時募集しています。



<公民連携の効果>

様々な課題解決と新たな価値創出
-市民（地域）・事業者等・枚方市-

市民・地域

- 市民サービスの向上
- 地域経済の活性化

事業者等

- 企業価値の向上、ESG経営の実践
- ビジネスチャンスの開拓

枚方市

- 行政のみではできない市民サービスの提供
- 行政課題の解決、行政コスト縮減
- 市のイメージアップ・魅力の創出

An aerial photograph of Osaka, Japan, showing a wide river (Yodo River) flowing through the city. A large bridge with multiple arches spans the river. The city skyline is visible in the background under a blue sky with scattered white clouds. The foreground shows green fields and some industrial or construction areas.

大阪・関西万博を契機に公民連携を拡大

ひらかた万博

ひらかた万博キャッチコピー

市民公募で

決定!

みんなで創ろう! この街の未来

未来の枚方をより良い街にするため、
自分を含めた枚方に関わる人みんなが、
共に考え、共に行動し、共に創っていけるように。

ひらかた万博の目的

大阪・関西万博を契機に枚方市をさらに魅力あるまちへ

>>> 地域経済の活性化

- ・国内外から枚方市に人が集まる
- ・市外、海外から見た枚方の隠れた魅力を発掘
- ・大阪、夢洲会場から枚方へ（淀川舟運・空飛ぶクルマ）

>>> まちへの愛着向上

- ・市民や国内外からの認知度向上・事業参加の機会創出
- ・市民や多様な主体が事業や取り組みを企画、運営（ホスト）
- ・「枚方の街の魅力の向上・再発見」→市民として誇れるまちへ

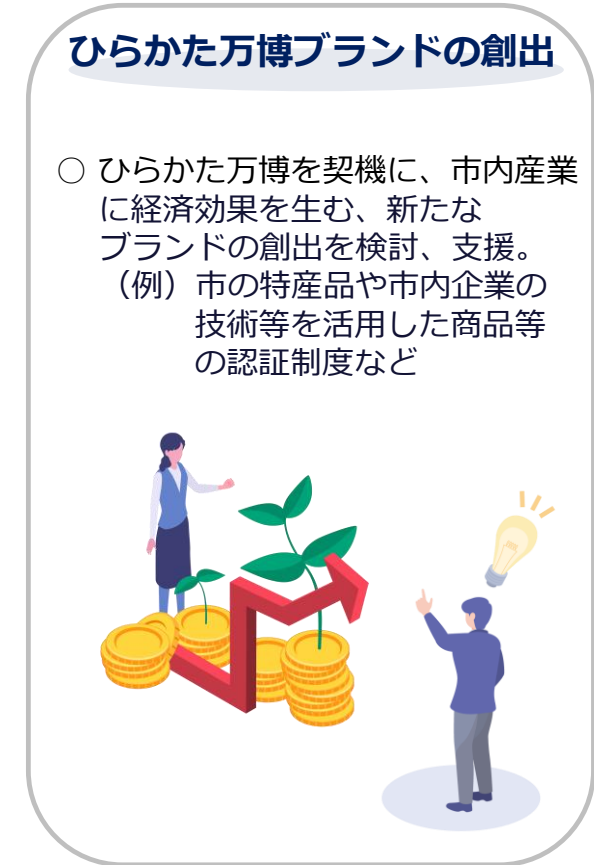
ひらかた万博共創プラットフォーム

共創を生む 対話の場

ひらかた万博を契機とし、市と企業・団体等、多様な主体間の共創を推進するエンジンとなる情報共有・マッチングプラットフォーム。公民・民民共創（オープンイノベーション）のための対話・情報共有の場。

令和4年度に新設
ひらかた万博の共創を進める新たな組織体

ひらかた万博を契機とし、市と企業・団体等、多様な主体間の共創を推進するエンジンとなる情報共有・マッチングプラットフォーム。公民・民共創（オープンイノベーション）のための対話・情報共有の場、共創チャレンジの創出等に公民連携で取り組みます。



An aerial photograph of Maebashi City, Japan, showing the Tone River and a bridge. The city is densely packed with buildings, and the river flows through the center. The sky is blue with scattered white clouds.

枚方市の未来に向けて

ひらかた万博への想い

今こそ！
Just Now!

公民共創

“持続可能な”
地域経済の活性化

そのために
How

つなぐ・いかにす

歴史・文化・地域資源

(再)発見して磨く、活かす

“持続可能な”
地域経済の活性化

【企業・団体等との共創チャレンジ】

老若男女みんなでつながろう！踊ろう！日本文化の盆踊り



歴史・文化をつなぐ

賑わいを創る



【農業6次産業化】

摂南大学 × 枚方市「すももサイダー」開発



地域資源をいかす

新たな価値を創る





【新たなビジネス創出へ】 「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けたビジネス座談会





人財・技術を結集

新産業の創出へ

今こそ！
Just Now!

公民共創

“持続可能な”
地域経済の活性化

めざす
まちの姿

～次代へ牽引～

新たな価値をつくり つなぐまち

Legacy for SDGs / Legacy for Well-Being

ご清聴ありがとうございました。



ひらかた万博共創プラットフォームにご参加ください！

みんなで創ろう！この街の未来

ひらかた万博



ひらかた万博
共創プラットフォーム

